



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月15日

上場会社名 株式会社エスエルディー
 コード番号 3223
 代表者（役職名） 代表取締役社長
 問合せ先責任者（役職名） 代表取締役社長
 半期報告書提出予定日 2025年10月15日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所

東

URL <http://www.sld-inc.com/>

(氏名) 有村 譲

(氏名) 有村 譲

(TEL) 03-6866-0245

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	1,862	△2.3	89	△9.3	93	△5.2	82	△14.0
2025年2月期中間期	1,906	2.7	98	17.8	98	9.9	95	16.8
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年2月期中間期	42.41		—					
2025年2月期中間期	50.98		—					

2025年2月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため記載しておりません。

なお、2026年2月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	1,198	547	45.6
2025年2月期	1,074	497	46.2

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 547百万円 2025年2月期 496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,822	4.4	212	47.4	212	48.5	206	43.6	111.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期中間期	1,560,864株	2025年2月期	1,560,864株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	129株	2025年2月期	129株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年2月期中間期	1,560,735株	2025年2月期中間期	1,560,735株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
(A種類株式)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	—	—	32,000.00	32,000.00
2026年2月期	—	—			
2026年2月期(予想)			—	32,000.00	32,000.00

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(中間会計期間)	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(第一種中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2025年3月1日～2025年8月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、食料品等の物価高により個人消費は節約志向の傾向が強まり、米国の関税引き上げや国際紛争の影響による懸念が高まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、国産米をはじめとした原材料費の高騰、賃上げや労働力不足の解消のための人件費、求人費といった費用の増大を招いており、業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、「To Entertain People～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、「食で好きをもっと楽しく」の実現を経営方針として掲げ、飲食サービスの健全な成長とコンテンツ企画サービスの拡大を実施してまいりました。

(飲食サービス)

飲食サービスにつきましては、すべての店舗においてお客様に安心して飲食を楽しめる空間を提供するために、更なる「CS(顧客満足度)と収益力の向上」を掲げ、集客改善に向けた設備投資などを引き続き実施しております。

また、サービス向上のため従業員に対する教育施策やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、人材・店舗資産を有効活用するなど業務の効率化を当中間会計期間においても推進してまいりました。

当社店舗においては、既存店のグランドメニューリニューアル、季節毎にお客様のライフスタイルに合わせた魅力的な商品を提供し、お客様の来店動機の創出、体験価値向上に努めてまいりました。

一方で、当社ブランドの体験価値を最大化するべく、アニメ、音楽アーティスト、キャラクターなどのコラボレーションカフェについては優良コンテンツを見極め、実施を進めてまいりました。そのため当中間会計期間においては、前年同期比でコラボレーションカフェの実施件数は減少しております。

この結果、当中間会計期間における当サービスの売上高は1,297百万円(前年同期比4.7%減)となり、直営店舗数につきましては29店舗となっております。

(コンテンツ企画サービス)

コンテンツ企画サービスにつきましては、アニメやゲーム、漫画、アイドル、音楽アーティスト等の優良コンテンツを活用した常設のコラボカフェの展開、他社が経営する飲食店舗の開店支援業務及び運営業務の受託などいわゆる企業間取引(BtoB)のビジネスモデルであるプロデュース事業などへの取り組みを行っております。

運営受託店舗のキャラクターカフェを中心に、インバウンド需要による訪日外国人観光客の集客が引き続き好調に推移しており、売上高は前年を超えることができました。

この結果、当中間会計期間における当サービスの売上高は565百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

以上の結果、当中間会計期間における業績は、売上高が1,862百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益89百万円(前年同期比9.3%減)、経常利益93百万円(前年同期比5.2%減)、また、直営店舗の定期建物賃貸借契約の満了による閉鎖に伴い減損損失9百万円を計上したことなどにより、中間純利益82百万円(前年同期比14.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して124百万円増加し、1,198百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して147百万円増加し、818百万円となりました。これは主に、売掛金が94百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して23百万円減少し、380百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金が17百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当中間会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して75百万円増加し、651百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して85百万円増加し、563百万円となりました。これは主に、短期借入金が50百万円減少したものの、未払金が39百万円、未払費用が35百万円、預り金が33百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して10百万円減少し、88百万円となりました。これは主に、資産除去債務が9百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して49百万円増加し、547百万円となりました。これは主に、利益剰余金が32百万円減少したものの、中間純利益を82百万円計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して11百万円増加し、328百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は109百万円となりました。これは主に、売上債権の増加額94百万円等を計上したものの、税引前中間純利益85百万円や、未払金の増加額39百万円を計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は15百万円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出15百万円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は82百万円となりました。これは主に、短期借入れによる収入50百万円を計上したものの、短期借入金の返済による支出100百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月12日の「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	317,237	328,955
売掛金	253,319	347,361
原材料及び貯蔵品	18,977	17,087
前払費用	29,676	19,914
未収入金	16,849	48,030
1年内回収予定の差入保証金	11,151	28,589
その他	23,375	28,539
流動資産合計	670,587	818,478
固定資産		
有形固定資産		
建物	393,936	389,223
減価償却累計額	△324,505	△332,942
建物(純額)	69,430	56,280
機械及び装置	9,000	9,000
減価償却累計額	△8,999	△8,999
機械及び装置(純額)	0	0
工具、器具及び備品	131,246	142,565
減価償却累計額	△121,141	△124,286
工具、器具及び備品(純額)	10,104	18,279
有形固定資産合計	79,535	74,559
無形固定資産		
ソフトウェア	140	70
その他	21	21
無形固定資産合計	161	91
投資その他の資産		
投資有価証券	1,500	1,500
長期前払費用	2,156	1,255
繰延税金資産	73,421	73,421
敷金及び保証金	246,950	229,513
その他	160	110
投資その他の資産合計	324,188	305,799
固定資産合計	403,885	380,450
資産合計	1,074,472	1,198,929

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,447	109,196
短期借入金	100,000	50,000
未払金	63,047	102,641
未払費用	140,559	175,856
前受収益	—	293
未払法人税等	5,384	2,692
預り金	22,179	55,637
未払消費税等	40,600	38,147
資産除去債務	14,492	24,202
その他	7,178	4,658
流動負債合計	477,889	563,326
固定負債		
資産除去債務	92,507	83,321
その他	6,367	5,248
固定負債合計	98,874	88,569
負債合計	576,764	651,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,876	48,876
資本剰余金	351,808	351,808
利益剰余金	96,191	146,516
自己株式	△168	△168
株主資本合計	496,707	547,033
新株予約権	1,000	—
純資産合計	497,708	547,033
負債純資産合計	1,074,472	1,198,929

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	1,906,319	1,862,451
売上原価	373,729	357,759
売上総利益	1,532,589	1,504,691
販売費及び一般管理費	1,433,914	1,415,186
営業利益	98,675	89,505
営業外収益		
受取利息	35	274
受取保証料	2,652	2,471
その他	1,927	1,534
営業外収益合計	4,615	4,281
営業外費用		
支払利息	789	426
株式交付費償却	2,777	—
その他	1,341	118
営業外費用合計	4,907	544
経常利益	98,383	93,242
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,000
特別利益合計	—	1,000
特別損失		
減損損失	—	9,225
特別損失合計	—	9,225
税引前中間純利益	98,383	85,017
法人税、住民税及び事業税	2,692	2,692
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	2,692	2,692
中間純利益	95,691	82,325

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	98,383	85,017
減価償却費	7,019	11,920
減損損失	—	9,225
受取利息及び受取配当金	△35	△274
支払利息	789	426
新株予約権戻入益	—	△1,000
売上債権の増減額(△は増加)	△55,062	△94,042
棚卸資産の増減額(△は増加)	△237	1,890
仕入債務の増減額(△は減少)	22,023	24,749
未払金の増減額(△は減少)	22,268	39,271
未払費用の増減額(△は減少)	30,726	35,297
預り金の増減額(△は減少)	28,633	33,458
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,762	△2,452
その他	△13,607	△28,675
小計	108,138	114,809
利息及び配当金の受取額	35	274
利息の支払額	△889	△405
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,218	△5,384
助成金の受取額	200	200
保険金の受取額	827	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,092	109,494
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△10,675	△15,776
資産除去債務の履行による支出	△909	—
その他	50	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,535	△15,776
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	119,655	50,000
短期借入金の返済による支出	△19,655	△100,000
長期借入金の返済による支出	△150,000	—
配当金の支払額	△32,000	△32,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,000	△82,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,557	11,717
現金及び現金同等物の期首残高	321,031	317,237
現金及び現金同等物の中間期末残高	330,589	328,955

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(第一種中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
飲食サービス	1,361,458	1,297,385
コンテンツ企画サービス	544,860	565,066
顧客との契約から生じる収益	1,906,319	1,862,451
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	1,906,319	1,862,451